

昭和62年

広報

2月号

No.374

おおす

市民のうごき

昭和61年12月末日現在

人口	40,007人	(△4)
男	19,106人	(△14)
女	20,901人	(+10)
世帯数	12,742世帯	(+3)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和62年2月1日発行 発行 大洲市役所 編集 市長公室 〒795 大洲市大洲690-1 ☎24-2111



肱川の風景 ①

今月号からは、大洲盆地を大きく蛇行して流れる肱川を中心にした、季節の風物詩を取り上げさせていただきます。

肱川は、その水源を東宇和郡宇和町正信に発し、途中で三百十一の支流を合わせて、伊予灘に注ぎます。

全長は、八九・一キロ、流域面積二二・一・四平方キロとまさに県下最大の河川です。

昭和三十四年三月に鹿野川ダムが完成するまで、昭和二十年の大洪水など大洲地方は洪水によっておびただしい被害を受けています。

しかし、水道や農業用水はもちろん古くは筏流しなどに利用され最近では、ウ飼い、川下り、また河原はいもたきの舞台として水郷大洲の名を高めています。

肱川周辺の美しい景観も含めて私たちが肱川から受ける恩恵は計り知れないと言えます。

今月号の主な内容

- 12月定例会市議会……………2・3P
- 国道大洲バイパス着工……………3P
- 肱川流域シンポジウム……………4・5P
- 人 大門重一さん……………5P
- 民生委員79人決まる……………6P
- 建設工事指名競争入札参加希望者の受け付け……………9P
- 休日急患診療……………10P

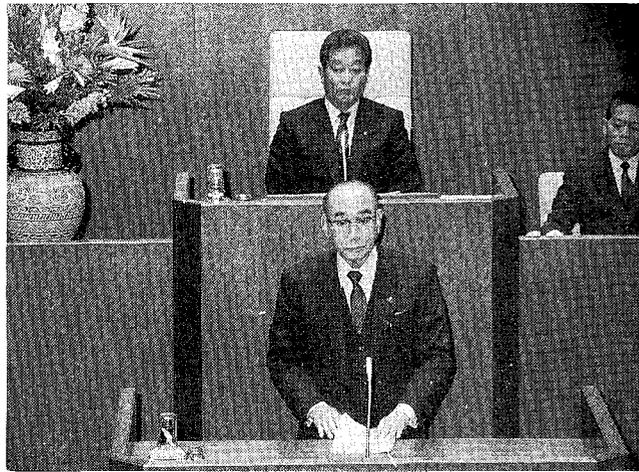
今月の納税

▶ 固定資産税(第4期)

納期は
2月28日

積極的に企業誘致

12月定例市議会



提案理由を説明する近田市長

開会にあたり、近田市長は提案理由を説明しました。

提案理由の説明

現在、国家財政は国債費が歳出予算の二〇%を超える状況になり、また円高不況の問題など非常に社会経済環境も厳しくなっています。地方財政についても厳しい財政状況であり、これからもこの状態は続くものと考えられます。このような状況の下、財政の弾力性、健全性を確保しながら、諸施策の推進に全力を傾けて取り組めます。

今回は、積極的な企業誘致を図り、産業を振興、地域経済を活性化するためには、思いきった奨励措置が必要と考え、大洲市工場誘致条例の一部改正を提案しています。

幸いにして、本年度に計画している事業は、順調に進行しています。改めてみなさんのご支援、ご協力に感謝いたします。

補正予算の概要

今回の補正額

- 一般会計 三億五千二百二十万円
- 特別会計 二億一千四十万円
- 企業会計 八千五百六十一万円

補正合計 六億四千八百三万円

今回の補正によって、今年度の予算累計は、百七十九億二千八百二十二万円となり、昨年同様に比べて二十五億五千四百四十八万円、約十七%増加しています。

一般会計

- 総務費 ▼国鉄職員受け入れ人件費(一名)に八十三万円 ▼県議会議員選挙費に三百万円
- 民生費 ▼愛の一声訪問事業委託料(六十五歳以上の独居老人対象)に百五万円 ▼社会福祉施設環境緑化促進事業(桜を植栽)に五万円
- 衛生費 ▼簡易水道特別会計繰出金に三百四十八万円 ▼不燃物処理場ブルドザー修繕料に六十万円
- 農林水産費 ▼米消費拡大総合対策事業に百二十二万円 ▼養蚕団地再編整備事業に二百九万円 ▼農業基盤整備事業補助金(丸山農道外六線)に六百九十二万円 ▼上須戒折尾地区農道新設改良事業追加に五百五万円
- 商工費 ▼臥龍山荘渡し舟事業補助金に十五万円
- 土木費 ▼野田団地一号線改良工事に三千三百四十六万円 ▼平地慶雲寺線道路改良工事追加に一千七百万円 ▼大洲停車場南線整備事業追加(用地買収など)に四千八百十三万円 ▼富士山公園整備事業追加に二千万円

特別会計・企業会計

- 特別会計 ▼大洲市国民健康保険特別会計に二億三千六百七十七万円 ▼大洲市農業集落排水事業特別会計に四百七十七万円
- 企業会計 ▼大洲病院事業会計に八千四百六十四万円

条例関係

- ◎大洲市国民健康保険条例の一部改正
出産費用の高額化などから、助産費の支給額を増加し(十万円 ↓ 十三万円)被保険者の負担軽減を図ったものです。
- ◎大洲市工場誘致条例の一部改正
積極的に工場誘致を図るため、優遇措置の範囲が広がりました。①工場以外に、試験研究をする施設も適用範囲の中に入りました。②常時雇用する従業員数が五十人以上だったものが十人以上となり対象とする範囲が広がりました。ただし投下固定資産税額五十万円以上の企業です。
- ③新たに雇用促進奨励金、利子補給金の制度が加わりました。

※へ続く

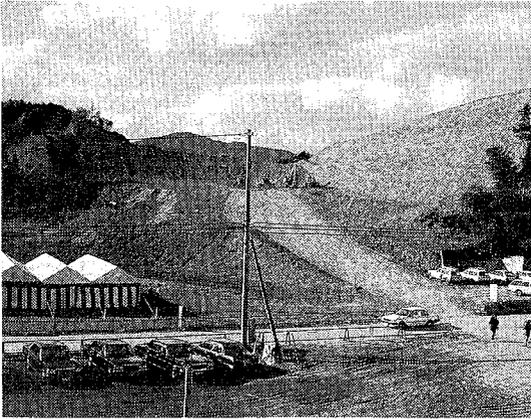
国道56号大洲バイパス着工 交通渋滞解消へ

大洲市街地の交通渋滞を解消するための国道56号大洲バイパスの起工式が十二月八日、行われました。

大洲バイパスは、北只〜東大洲を結び、長さ六・三キロ、幅二十、五メートルの四車線自動車専用道路で総工費二百十億円。

一般国道の自動車専用道路は、四国では初の着工で、将来は高速道路と結ぶ計画です。

大洲バイパスは、昭和四十七年に調査を開始、昭和五十五年から昭和六十年までに用地取得などに十五億円をかけています。



今回の工事区間は、北只から菅田までの三・二キロで途中に肱川新橋(二百三十二メートル)を含み、七年から十年後に完成する見込みです。

とりあえず二車線だけの建設を進めますが、この第一期工事が完成すれば、市内通過の場合と比べて十分程度時間短縮となります。

バイパス全体が完成すれば、二十分短縮できる予定ですが、全体の事業が完成する時期は、用地買収の進行状況や予算の関係上、はっきりと定まっています。

近田市長は、「大洲バイパスは大洲市民だけでなく、南予のみならず、その早期完成を望んでいる」とあいさつをしました。

高富川改修

大洲バイパス工事に並行して、県は市内南久米を流れる高富川の河川改修と道路改良事業を進めています。

高富川は、低地部を蛇行して流れ、肱川が増水するたびに、川が逆流して住宅に浸水しています。このため、現在の嵩

富川(長さ約一・六キロ、幅約十メートル)を埋め立て、幅二十五メートル、長さ一キロの新嵩富川を肱川に直線的につなごうと昭和五十年年度に調査を開始し、昭和六十年年度から工事に着手しています。

またこれに伴い、国道441号も新嵩富川に並行して、長さ九百六十メートル、二車線の新道をつくり、昭和六十二年三月に完成予定の新富士橋、国道一九七号線と連絡させます。総事業費は約三十億円、(河川二十億円、道路十億円)で昭和六十三年度に完成する予定です。

柚木・北只土地区画整理

高富川改修で生じる残土約三十七万立方メートルを利用して大洲市柚木北只土地区画整理組合(地権者百十四人)が、災害対策、宅地造成を目的に亀山、北只、柚木、三

団地計約十二・五ヘクタールに平均四割の盛り土をして土地区画整理を進めます。田畑が六十三％を占める同地域は、この事業で宅地九・二ヘクタール、道路、公園などに三・三ヘクタールの住宅団地(約三百四十戸)になります。

総事業費は約十一億六千万円、昭和六十六年度完成の予定です。

職員給与に関する条例の一部改正

国家公務員については人事院勧告により俸給などが改正され、県においても同様の措置がとられたので、大洲市の職員の給与もこれに準じて改定したものです。

人事案件

教育委員会委員の任命

藤岡正巳委員が、昭和六十一年十二月二十二日をもって任期満了となるので、後任委員の任命について議会の同意を求めたものです。新しい委員は次の人です。

- 藤岡正巳(柳沢・63歳)再任
人権擁護委員の推薦
- 伊達鹿芳委員が辞任されたので後任委員の推薦について議会の意見を求めたものです。
- 推薦された人は次の人です。
- 東定一郎(森山・65歳)

その他

昭和六十年大洲市歳入歳出決算の認定について

大洲市松尾および梅川の字の区域の一部を変更しました。

▼専決処分した事件の報告並びに承認を求めることについて

▼昭和六十一年度公営住宅(堀の内団地)新築工事の請負契約の締結について

このほか、「河辺川ダム建設と松山への分水問題について」河辺川ダム計画中止を求める陳情が出されましたが、継続審査となりました。

市議会二百回記念植樹

十二月十二日開会した大洲市議会は第二回開会となることから、市庁舎前に記念の植樹をしました。議会終了後に議員、市理事者など約五十人が見守る中、小泉絃文市議会議長、米沢忠重市議會議員会長、近田市長の三人が、高さ二メートルのモッコクの木を植えました。



▲ 記念植樹をする関係者

流域の活性化は「フランス村」で

肱川流域シンポジウム



十二月六日、七日大洲市民会館で肱川流域開発促進協議会（会長近田大洲市長）主催の肱川流域シンポジウムが開かれました。（六日は前夜祭）

肱川流域全体の活性化を図るためにはどうすればよいか、流域の六市町村（大洲市、長浜町、内子町、五十崎町、肱川町、河辺村）から参加した行政関係者、流域住民など約千人が見守る中、熱の入った討論が行われました。

十二月七日、九時三十分にはシンポジウムは開催され、同協議会の近田会長は、次のようにあいさつをしました。

「総合研究開発機構の助成を得て、フランス村のプランを作成しました。肱川流域全体が二十一世紀

紀を目指して地域開発に取り組む、またそういう息吹きが巻き起こることを期待します」

また、フランス大使館からシンポジウムの成功を祈ってメッセージが寄せられました。

午前中は、フランス大使館のジャン・ミッシェル・ソラント氏による記念講演、東京大学名誉教授の大島恵一氏による基調講演があり、午後からはパネルディスカッションが行われましたが、主な内容は次のとおりです。

「フランスの人と文化」

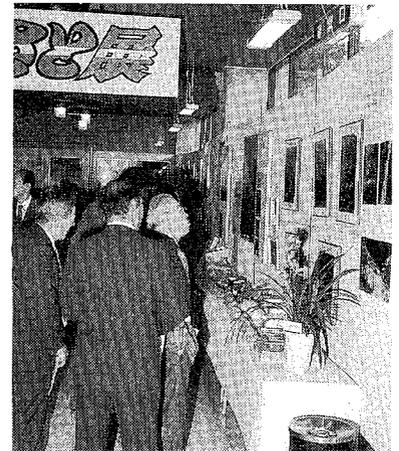
日仏の接点を求めて



▲フランス大使館
ジャン・ミッシェル
ソラント氏

私は、四回目の勤務地に日本を

希望しました。それは、自国の文化を持ちながら世界の中で急速に発展してきた日本にとっても興味があったからです。



▲各地の特産品を会場に展示

しかし、東京では没個性という個性がつぶされています。

大洲地方は、日本伝統の良さを持っています。フランス西南部は愛媛県とよく似ています。中央の首都から離れていること、観光地として魅力にあふれ、文化、芸術の豊かであることなどです。

両地域が、フランス村を通じて小学校の絵の展覧会、旅行などで相互交流してみればどうでしょうか。

またフランス村には、ワイン研究所、ラジオ局、ビデオクラブの設置を提案します。

「新産業革命とまちづくり」

フランス村構想への提言



▲東京大学名誉教授
大島 恵一氏

- ① 中心グループが必要 中心となるグループ、組織がしっかりしていると、すぐ息切れしてしまいます。
- ② 観光開発 観光客を呼び集めるだけでなく、人間とのふれあいを大切にしたい。
- ③ 人間と文化の交流 肱川とカオール地方の交流を盛んにして、お互いの地域に移住して永住するよう深い交流関係を築いていくことが大切です。



▲左から高瀬氏、ブルディエ氏、佐藤氏



▲村上氏



▲望月氏、堀田氏

パネル・ディスカッション フランス村観光開発構想を基軸として

パネル・ディスカッションには次の人たちがパネリストとして出席、討議しました。

- ▼望月 清人氏(松山商科大学教授)
- ▼堀田 忠夫氏(愛媛大学農学部教授)
- ▼佐藤 靖雄氏(株エス・ピー・シー常務取締役)
- ▼マルク・ブルディエ氏(東京大学工学部建築学科研究員)
- ▼高瀬 信明氏(大洲電子工業(有)代表取締役)
- ▼村上 克美氏(司会者(松山商科大学経済学部教授))

望月氏「フランス村には、スポーツ施設を設置して、健康を一つの柱にすればどうでしょうか。」

堀田氏「今までの一村一品運動には、人が集まってこない欠点があります。拠点となる施設を中心に、パイオを用いた先端産業、グルメ開発、街路樹、切り花の普及、林業展示施設などを考えてみてください。」

佐藤氏「流域の六市町村が六つの個性的な地域開発(バイオランド、グルメランドなど)をして、相互に交流し、バランスを保った開発を進めていくことが必要です。ブルディエ氏「アメニテ(快適、こころよさ)には、見えるアメニテ(風景など)と見えないアメニテ(人情など)があります。アメニテを柱として進めていきましょう。」

高瀬氏「大洲青年会議所を通じてイカダ流し、お祭り村などを企画実践してきましたが、最終的にまちづくりは人づくりからと言えます。また文化、産業の全体的なレベルアップが必要です。」

また会場から、「大洲にはポルドー村、内子にはドイツ村などの構想があるのに、なぜまたフランス村なのか」という質問に対して、司会者の村上氏が、「フランス村は、それらの構想を総括したより広域的なもの、また全国でフランス村という名称は初めてのものでもあります」と答えました。

「こういう広域的なフランス村を作る上での問題点は？」という問いに対して、佐藤氏は「地元の熱意が一番大切」と答えました。

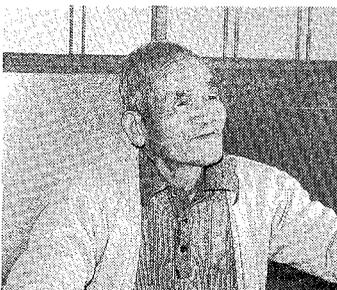
最後に司会の村上氏が「大都市志向の流れに対抗するには、壮大な計画が必要。フランス村実現のためには、今後各分野での研究・検討が必要」とまとめました。



大門重一さん

大洲市阿蔵 (77歳)

キハダは、古くから薬木、染料木として用いられ、特にキハダの内皮を乾燥させたオウバクは、古くから胃腸薬として使用されています。樹高は十五〜二十メートル、大きなものは二十五メートルにもなります。大門さんは、キハダの普及に力を注ぎ、昨年十一月に緑化功労賞



キハダ普及によって 緑化功労賞

を受賞されました。

「昔は、キハダの木も各地にありましたが、明治時代に鉄道の枕木として使われたため、とても少なくなってしまう」と語る大門さん、大門さんを訪問したときには、ちょうど各地にキハダの実を送る用意をされていました。

青森、長野、鹿児島などから、キハダの種を分けてくれという申し込みが、一昨年は三百五十件、

昨年、日本農業新聞にキハダの記事が掲載されると、一カ月あまりで八十件も申し込みがありました。大門さんは、昭和四十八年に全日本薬農組合連合会に加入し、サフランなどの薬草を栽培していましたが、同組合の勧めもあって昭和五十五年からキハダの育成に取り組みました。

キハダは、薬用、建築用、染料、街路樹などに使われ、当時は松くい虫の被害による松の代替材として期待され、大門さんは昭和五十五年、約十アールの土地に百本キハダを植えました。

現在は三十アールの土地に六百本の規模となり、昭和五十八年には、県林業試験場の研究林になっています。

三年前からキハダに実が成り、申し込んだ人に無料で配布、昨山口県で開かれた「中国・四国地区緑化推進協議会」では、愛媛県でただ一人表彰を受けました。

「江戸時代は、藩主が薬木として保護していましたが、現在はとても少なくなつて大部分を台湾や韓国から輸入しています。全国にキハダを広めるのが私の夢」と元気に話されていました。

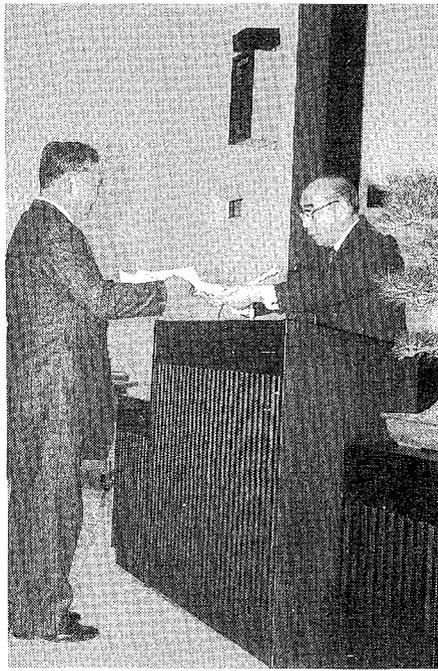
七十九人に委嘱状を伝達

民生・児童委員

十二月六日、大洲市役所二階大ホールで大洲市の民生・児童委員に委嘱状が伝達されました。十二月一日付で、厚生大臣と愛媛県知事から七十九人の民生・児童委員が委嘱され、これから三年間、生活上の悩みなどの良き相談相手、助言者となつていただきます。

七十九人の内、新任は九人、再任は七十人で、女性は二十八人、男性は五十一人でした。

民生委員協議会役員は、会長に土居貞雄氏、副会長に田丸章氏、井上要氏、監事に都築薫彰氏、吉岡友睦氏、婦人部部长に渡部みね子氏、副部长に佐々木フジ子氏が



選ばれました。

また、長い間民生・児童委員の役目を果たし、このたび退任された人に、厚生大臣感謝状、大洲市長感謝状が贈られました。

受賞者は次のとおりです。

◎厚生大臣および大洲市長感謝状受賞者

▼尾山伊佐夫(五郎)▼歌原 栄

(阿蔵)▼長瀧ツヤコ(大洲)

▼大野孝子(菅田)▼池田茂雄

(徳森)▼藤田トモ子(常磐町)

◎大洲市長感謝状受賞者

(敬称略)

▼上甲武一(稻積)▼祖母井千代

子(春賀)▼八島君代(新谷)

民生委員 児童委員 名簿



◎は各地区の総務、○は副総務 (敬称略)

▼大洲地区

平井	繁義	24	2	7	4	6
沖本	恒一	24	2	2	1	9
清水	安子	23	5	0	7	0
村上	守	24	2	6	3	5
玉井	佐智	24	6	3	9	7
渡部	みね子	24	3	3	2	4
白石	成子	24	6	2	4	6
岩田	重喜	24	2	0	0	4
梶谷	繁一	24	2	6	8	0
矢野	利秋	24	6	1	4	0
井藤	満	24	5	6	9	7
上田	重幸	24	5	3	2	8
丹羽	ノブエ	24	6	3	7	9
安養寺	重磨	23	3	3	1	8
柳部	佐敏	24	3	7	6	6
二宮	貞子	24	4	6	4	1
東原	弘泰	24	3	2	8	5
浜田	耕造	23	2	6	6	1

▼南久米地区

梅林	晟子	24	4	2	6	8
土居	貞雄	24	7	5	2	8
井上	進	24	7	3	0	3
木戸	ミヤコ	24	7	3	7	6
栗田	國夫	24	4	3	1	2
藤方	進	25	5	1	8	9
有友	武司	25	5	0	7	0
平野	律子	25	0	4	6	1
野戸	千戈	25	5	9	6	6
吉田	善子	27	0	2	2	3
青木	久	25	5	4	2	4
矢野	末光	25	4	7	6	9
成澤	富衛	23	3	4	2	5

▼三善地区

熊野	良一	26	0	1	6	7
祖母井	千歳	26	1	8	3	8
熊野	高義	26	0	5	8	7
大塚	須義子	26	0	3	0	9
菊池	安子	26	0	5	4	8
楠野	八千代	26	0	0	2	6
水本	勇	26	0	0	8	4
鶴岡	通利	26	2	3	0	7
都築	薫彰	26	0	0	9	0
須内	茂男	26	0	0	9	1

▼八多喜地区

野寄	志げ子	25	0	6	8	1
岡崎	房子	25	0	6	4	6
谷本	長幸	25	0	0	6	8
岡部	寅夫	25	0	3	6	6
大野	時明	25	3	0	2	9
古川	善政	25	0	1	9	7
河野	宏道	25	3	5	6	2
梅岡	邦嘉	25	3	1	1	6

▼新谷地区

徳田	生夫	25	2	4	1	2
亀本	春子	25	4	4	0	4
井上	要	25	0	9	7	6
山崎	誠一	25	2	4	7	1
山崎	美和子	25	5	2	4	1

▼柳沢地区

西山	義長	27	0	3	6	0
神ノ倉末廣		27	0	9	3	5
餘家	道子	27	0	9	6	7

所得税の確定申告はお早めに

確定申告 = 2月16日~3月16日

贈与税 = 2月1日~3月16日

昭和六十一年分の所得税の確定申告の期限は、二月十六日から三月十六日までです。所得金額や税額は正しく計算し、申告と納税は期限内に済ませてください。

●確定申告をしなければならぬ人

①事業をしている場合、不動産収入のある場合、土地や建物を売った場合などで、昭和六十一年中の所得金額の合計額が、所得控除の合計額を超えるとき

②サラリーマンで、給与の年収が、一千五百万円を超える場合や、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える場合

※サラリーマンの人で雑損、医療費などの控除が受けられる人は、確定申告すれば税金が還付される場合があります。

●贈与税の申告もお忘れなく
贈与税は、個人から贈与を受けた現金、有価証券、土地などにかります。
また、一年間に贈与を受けた財産の価額が六十万円以下であれば贈与税はかかりません。

税金について詳しくは大洲税務署にお問い合わせください。
☎0893243115



まじりの おくじもの



(指定配分)

金一封(寄付金を平野地区社協へ)

平野町 大野 照雄

金一封(平野地区社協へ)

平野町 菊池 宗利

金一封(新谷地区社協へ)

新谷 古川 善政

金一封(寄付金を市内福祉施設六ヶ所へ)若 宮 吉岡 友睦

金一封(八多喜地区社協へ)

八多喜町 笹尾 速

金一封(寄付金を肱北地区社協へ)

中村 恵美須・大黒・射場

婦人会

(物品の口座)

電気アンカと手作りクラフト

六十五個(中村地区独居老人へ)

東大洲 松下寿電器産業労働組合

大洲支部

日用品 二十八個(市内独居老人へ)中村 (株)フジ大洲店旁

勤組合員一同

温かい善意をありがとうございます。

感謝をこめて掲載させていただきます。

大洲市社会福祉協議会



No.100

人権作文から

差別をなくすために

中学校三年生女子

道徳の時間に先生が配って下さった資料は、「悲しい涙は流したくない」という、同和地区の方の結婚問題をとり上げたものでした。ある女性の結婚問題で、親や親せきの人達から強い反対を受けます。彼女は、そのような周囲の目に深く傷つきます。

どうしてこのような不合理なことがあるのでしょうか。もともと、親もまわりの人も、こぞって祝福すべき結婚であるはずなのに。年輩の方達は、どうして昔の誤った考え方から抜けきれないのでしょうか。人権教育が行われ、人は皆んな平等であることを知っていながら、今でも差別という、みにくい気持ちを捨てることができないのでしょうか。

結婚問題以外にも、私達のまわりには、仲間はずれや友達をいじめるといった差別があります。どれも同じようにその根底には、人を軽べつし優越感もちたいという、みにくい気持ちが表れているのです。

こんなみにくい気持ちがつくり出している差別、私は許せません。

では、どうすれば真の差別解消ができるか、自分なりに考えてみました。

まず第一に、一人ひとりが「人間誰もが同じであって、違ったところは無いのだ」ということをはっきり知ることです。

第二に、勇気ある行動力を身につけることです。友達が差別されているのを見て、「かわいそう」と同情していたのではダメなのです。同情だけでは差別はなくなりません。

最後に、もっと同和問題の正しい知識を身につけ、まちがった考えを子孫に残さないようにすることです。

やがて私達の時代がやって来ます。そこでは、「同和問題」という言葉も聞かれない、差別のない明るい社会にしたいと思います。



◇ 中学三年生にもなると、「結婚」について身近な問題として真剣に考えます。

「年輩の方達は……」一部の誤解や偏見をものいう大人に対して中学生は率直な批判をしています。その素直な感情に学びたいものです。

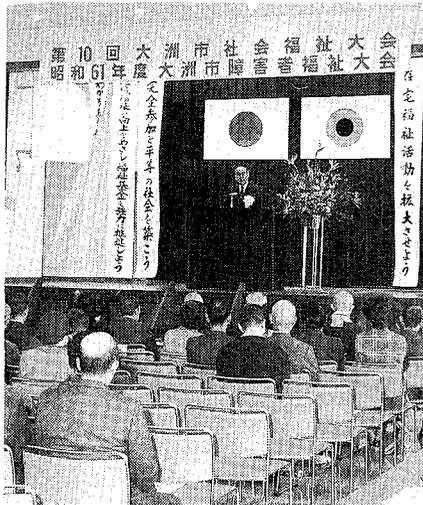
つづく

市民の市場



節分2月3日

第10回 大洲市社会福祉大会



十二月八日、大洲市役所二階大ホールで、「第十回大洲市社会福祉大会」、「昭和六十一年度大洲市障害者福祉大会」が開催されました。

この大会の目的は、「心の通いあう明るい福祉の町づくりを推進しよう」というもので、市内の民生児童委員や社会福祉施設関係者など約二百人が参加しました。

当日には、次のように体験発表が行われました。

▼福祉のあゆみ (敬称略)
民生児童委員 吉田 善子
▼母子福祉会の活動について
母子寡婦福祉連合会 田野栄子
▼七年の歩みをふりかえって
家庭奉仕員 山本 スエ子
午後からは、「福祉の心と福祉活動」の演題で今治明德短期大学学長の宮本七郎先生の記念講演が行われ、宮本先生は、「福祉の心

は、その人の身になって聞いてあげることが大切、自分の悩みを理解してくれる人がいると思うことで孤独感が解消できる」と自分の体験を交えて話しました。

また、次の人たちが表彰を受けました。

(敬称略)
大洲市社会福祉協議会会長表彰
○社会福祉施設功労者
とみす寮 河野久子(中村) 渡邊千代子(八多喜)
○社会福祉協働者
菊池政照(平野) 谷岡幸太郎(上須戒) 金谷重寿(藤縄)
大洲市身体障害者協議会会長表彰
坪田秀儀(平野) 上田定夫(黒木)
大洲手をつなぐ親の会会長表彰
福岡一雄(小田町) 古森アル子(柚木)
厚生大臣表彰(披露)
土居貞雄(梅川) 東文道(平野) 吉岡友睦(若宮)

新刊図書案内

- えひめ人その風土 愛媛放送 笑美句集春炬燵 直本重夫著
- 宮脇 先 景浦 勉編
- 二宮敬作・三瀬諸淵・矢野玄道 伝記刊行会編
- ギネスブック87 A・ラッセル編 本を書くための本 千尾 将著
- 朝日新聞縮刷版 朝日新聞社
- 先祖のまつり方 細木数子著
- 歴史を歩く 会田雄次著
- 日本の古代7 岸 俊男編
- 独創は闘いにあり 西澤潤一著
- イエーガー C・イエーガー著
- ソ連崩壊 那須 聖著
- ほうれんそうが会社を強くする 山崎富治著
- 女性の資格ガイダンス学陽書院
- 親の姿子の心 高田好胤著
- 日本農業年鑑87 家の光協会
- こどものうた楽譜集25冊NHK
- 国宝への旅4 NHK取材班
- 詩人の妻生田花世 戸田房子著
- 夜の光に追われて 津島佑子著
- 優 駿上・下 宮本 輝著
- 忠臣蔵上・下 森村誠一著
- いのち華やぐ 瀬戸内寂聴著
- 妻と娘の国へ行った特派員 近藤紘一著
- 井上成美 阿川弘之著
- 獅子とともに横たわれ K・フォレット著

図書館

奥さん 訪問

No.68

山が多い所ですね

徳森 川崎 民子さん(25歳)

▼生まれは、宮崎県の都城市です。家が、宮崎と鹿児島県の県境にあつたので、桜島の灰が降ってきたことが何度もありました。

▼主人(修二さん)とは、愛知県で、同じ会社に勤めていて知り合いました。

▼昭和三十七年に大洲へ来たのですが、とにかく山ばっかりだなと思いました。

▼言葉にはもう慣れましたが、来てまもないころは、「ネキ」近くとか「ピンダレ」だらしがいないこと」などの意味が分からなくてと

まどいました。

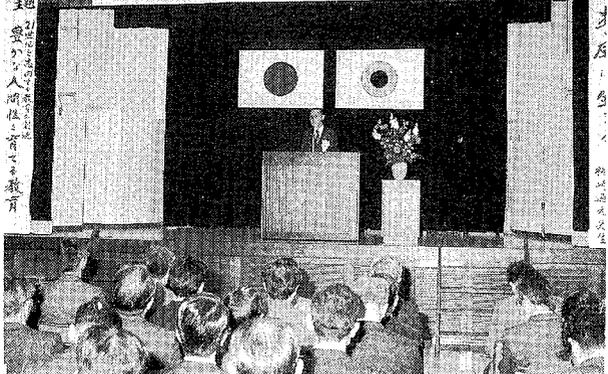
▼近くに八幡浜出身の人がいます。が、八幡浜の人はハキハキしている、大洲の人はおっとりしている感じがします。

▼大洲の花火は、毎年見にいってきます。うかいも一度ぜひ遊覧船に乗ってみたいですね。

▼子供たち(真志くん11歳、貴章くん12歳)は、責任感のある人になってくれたらと思います。



大洲市教育研究大会



▲昭和61年度
大洲市教育研究大会
12月5日、大洲市役所2階大ホールで「昭和61年度大洲市教育研究大会」が開催されました。同大会には、市内の小・中学校教員約300人が参加して「豊かな人間性を育てる教育」について活発な討議が行われました。



▶親子でたこづくり 中央公民館
十二月二十六日、大洲市立中央公民館で「親子たこづくり教室」が開かれました。
凧合戦で有名な五十崎町の都築数恵先生の指導を受け、小学校六年生五十人は、お父さん、お母さんと共に、うさぎや漫画の絵をつけた凧を熱心につっていました。

▼クリスマスプレゼント大会 (大洲手をつなぐ親の会主催)

12月5日、市民会館で「手をつなぐ親の会」主催のクリスマスプレゼント会が開かれ、大洲学園、育成園などから約400人が参加しました。高柳収入役と谷岡市議会副議長ふんするサンタクロースからプレゼントを贈られた子供たちは、大喜びでした。



▶しめ飾りをつくったよ 徳森の子どもたち
十二月十四日、徳森児童センターで、正月用のしめ飾りを同地区の子供たち五十人が作りました。
徳森児童センターと公民館徳森分館の共催で行われ、指導は同地区の老人クラブ徳寿会があたり、子供たちは楽しくしめ飾りを作っていました。



昭和61年(1月~12月) 大洲市内の交通事故

	12月末 現在	昨年 同期
件数	257	222
負傷者	337	301
死者	5	5

外国人を家庭に
招きませんか
愛媛県ホームビジット制度
詳しくは市役所商工観光課へ
☎2111内線327

建設工事指名競争入札
参加希望者の受付
昭和六十二年度に、市が発注する建設工事の入札参加資格を得たい人は、次の要領で、申請書を提出してください。
なお、申請書の提出については、建設業法第二十七条の規定による経営規模、その他経営に関する事項の審査が終わっていることが必要です。
受付期間 昭和六十二年三月二日から三月三十一日
受付場所 大洲市役所二階建設部建設課
※詳しくは建設課へ。
☎2111内線350

保健センターだより

☎243775

休日急患診療

大洲病院からのお知らせ

皮膚泌尿器科医長 松崎幸康
外科第二医長 吉田隆一郎



乳幼児健康診断

実施日 該当者
2月3日(火) 昭和61年9月生※
2月10日(火) 昭和61年6月生※
2月12日(木) 昭和60年7月生
2月17日(火) 昭和61年3月生※
2月24日(火) 昭和59年1月生※
※は肱南・肱北地区のみ
受付時間 13時～13時30分
実施場所 大洲市保健センター
持参品 母子健康手帳



歯科相談(大洲保健所)

献血のお知らせ
次のように採血車が巡回しますので、ご協力をお願いします。
実施日 2月5日(木)
場所 市立大洲病院
時間 9時30分～12時
実施日 内容
2月18日(水) 成人歯科相談
2月25日(水) 乳幼児歯科相談
受付時間 13時からです。前もって電話連絡をお願いします。
☎243165

相談ごと案内

いずれも無料です。お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談
とき 2月9日 10時～15時
2月20日 〃
ところ 市役所1階会議室

▶人権相談
とき 2月20日 13時～16時
ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談
とき 2月2日 13時～16時
2月10日 〃
2月25日 〃
ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談
とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談
とき 2月21日 9時～12時
ところ 市役所1階会議室
急がれる時は、電話で相談してください。☎243794 (玉木)

▶社会保険相談
とき 2月23日 10時～16時
ところ 大洲商工会議所
担当 松山西社会保険事務所

▶医師・栄養士による健康相談
とき 2月26日 13時～15時
ところ 大洲市保健センター
対象 40歳以上の人

▶何でも相談
とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲隣保館(東大洲) ☎246100 大洲福祉会館(新谷) ☎250947

▶不動産無料相談
とき 2月15日 9時～16時
ところ 宅建協会大洲支部(フデエダ花店2階、常磐町4)

2月1日 肱川医院(菅田) ☎2915
2月8日 二瀬内科(八多喜) ☎4551
2月11日 町野医院(森山) ☎4551
2月15日 岡部クリニック(片原町) ☎244375
2月22日 安達医院(中町二) ☎244551
2月25日 大洲中央病院 ☎242535
大洲中央病院 ☎242151
大洲中央病院
眼科部長 一色辰朗
内科第三医長 佐々木達郎
2月8日 中村氏は愛媛県出身で、愛媛県立中央病院の外科部長として勤務されてきました。
また、外科第二部長堀川氏の後任には、吉田隆一郎氏が着任いたしました。
大洲病院医師の体制は、次のようになります。
職名 氏名
院長(外科) 中村 讓
内科第一部長 中塚重和
産婦人科部長 松尾邦彦
外科第一部長 松原信也
内科第二部長 寺岡賢治
整形外科部長 小川哲哉
眼科部長 一色辰朗
内科第三医長 佐々木達郎

山本茂実先生講演会
野麦峠から見た今の生活

国立大洲青年の家では次のように公開講演会を開きます。
とき 昭和62年3月7日(土)
午前9時～10時30分
ところ 国立大洲青年の家講堂
演題 野麦峠から見た今の生活
講師 作家 山本茂実

山本先生は、大正六年長野県松本市に生まれ、著書には「あ野麦峠」、「飛騨高山祭」などがあります。

入場料 無料です。
当日は、大洲市内から青年の家まで無料バスが運行される予定です。

詳しくは、大洲青年の家へ。
☎0893245175



後記

国道バイパスの工事もいよいよ始まりました。大洲の交通渋滞を解消するため早く完成してほしいものです。(S)